

地域おこし協力隊の

# 活動報告

## 私の三年

私は、専門学校を卒業してから就職で仙台市へ行きました。憧れていた都会生活でしたが地元である秋田が恋しくなり、帰りたいと思うようになりました。そんな中、湯沢市の地域おこし協力隊として芸舞妓の募集をしていることを知り、高校生時代に部活で民謡をしていたこともあり、運命を感じて応募しました。

湯沢市の地域おこし協力隊に着任してからは、本当にあつという間の三年間でした。たくさん思い出があります



が、その中でもお見世出しをした日が一番の思い出です。舞妓としてはじめての舞台だったこともありとても緊張しました。

今回の担当

須田 さくら 隊員

令和5年7月着任



詳しい活動情報はこちらから

湯沢市地域おこし協力隊  
インスタグラム



会場である料亭石川の大広間いっぱいに来てくださったお客さまがいまいた。たくさんの方が支えてくださっていることを改めて感じ、そして、舞妓としてはもちろん人としてより成長できるような頑張ろうと思えました。

私が地域おこし協力隊に着任してから温かく迎えてくださった地元のみなさんには感謝の気持ちでいっぱいです。任期終了後も湯乃華芸妓の舞妓として頑張りたいと思っております。お座敷やイベントなどでより成長した姿を見せられたらうれしいです。

## トピックス TOPICS

# 6月19日から「湯沢文化会館」の愛称が「秋田エプソンゆざわホール」になりました！

市と秋田エプソン株式会社（代表取締役社長：平田 潤）は、4月1日に締結した湯沢文化会館のネーミングライツ（命名権）契約に基づき、愛称を「秋田エプソンゆざわホール」に決定。同社は6月20日に創業40周年を迎え、これに先立ち、6月19日から愛称の使用を開始しています。

新しい愛称とともに、これからも地域文化の発信拠点として広く親しまれる施設を目指してまいります。



秋田エプソン(株) 平田社長から

秋田エプソンゆざわホールが市民の皆さまに愛される施設となるよう努め、地域の活性化に貢献していきたいと考えております。



佐藤市長から

地域の皆さま、市内外の皆さまに広く親しんでいただき、末永く活用していただける施設となるよう取り組んでまいります。



▲愛称の公表時に行われた合意書締結の様子（5月26日）